

いま、あらためて 国・社会のあり方を考えるとき

金属労協事務局長 梅田 利也

世界の分断と右傾化の進行

いま世界はあらゆる階層で分断が進んでいます。

ご存知のように、ロシアによるウクライナへの侵攻、ハマスとイスラエルの武力衝突はいまだに収束する気配が見えません。

足元では世界の主要国を中心に右翼勢力が勢いを増しています。

ロシア…プーチン大統領による国際ルールを無視した振る舞い、中国…習近平国家主席の長期政権、英国…EUから脱退、ポーランド、ハンガリー…強権政治への傾斜、フランス…極右政党「国民連合」の躍進。アメリカ…トランプ大統領の再選と自国利益第一主義。

また、私たちのアジアに目を向ければ、タイ、フィリピン、ミャンマーの政治情勢が懸念されます。

昨今、「民主主義の崩壊、終焉」といった内容の書籍が溢れています。

私たちはあらためて目指すべき国や社会のあり方を考えるときに来ているのではないでしょうか。

そこで、今号では「世界が右傾化することで日本の企業・労働組合にどのような影響が及ぼされるのか」について、識者からの寄稿をいただくこととしました。

いただいた提言を踏まえ、現在の立ち位置を確認し、これからの進むべき方向性を考える際の道標にしていきたいと考えます。

フリーダムレポートと 世界の自由度の低下

ここに米国NGOであるフリーダム・ハウスが毎年実施している調査結果 (Freedom in the world 2025 (2025年2月6日)) があります。

それらによれば、世界の自由度は2024年まで19年連続で低下しており、60カ国で政治的権利と自由度が悪化し、改善が見られたのは34カ国であったといえます。

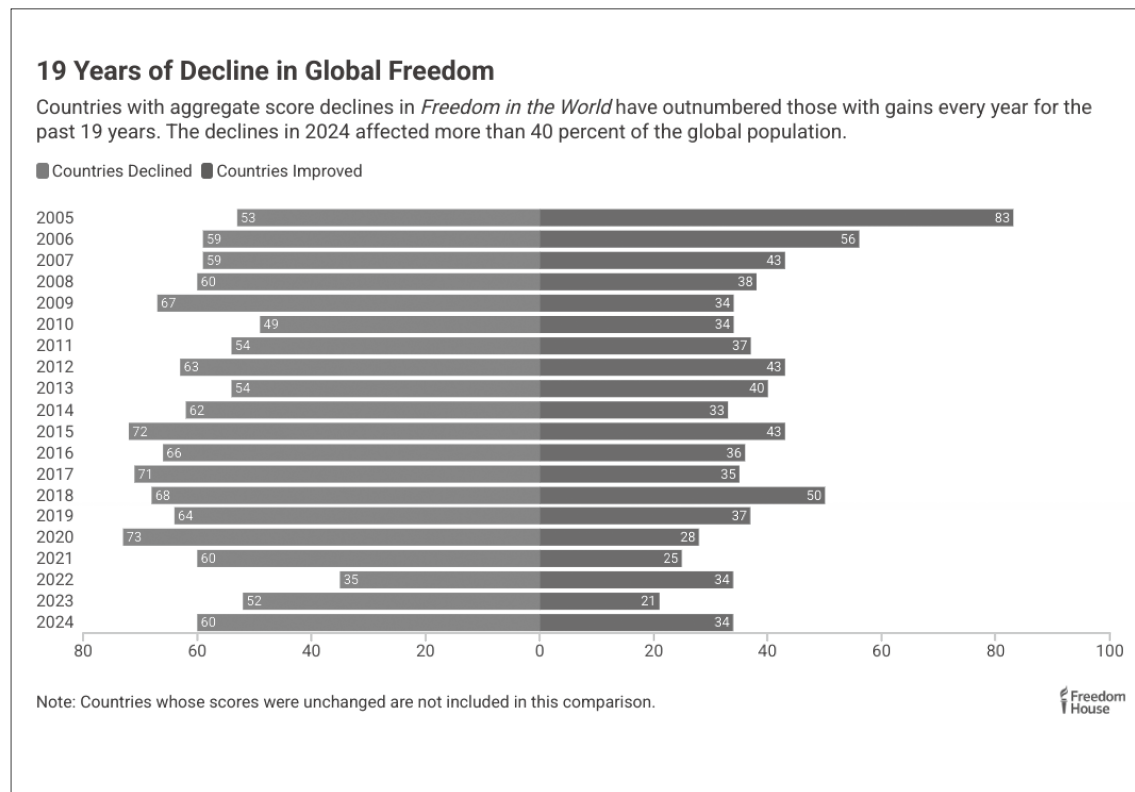
また、2024年に国政選挙が実施された国・地域の40%以上で候補者が暗殺未遂や襲撃の標的にされたり、投票所が襲撃されたり、選挙後の抗議行動が不均衡な力で弾圧されたりしています。

世界で最も自由度を誇る国々と定義されたのは、フィンランド、スウェーデン、ニュージーランド、ノルウェーでした。オランダ、デンマーク、カナダなども上位で、自由がないとされたのは67カ国。最下位にランクされたのはロシアによる軍事侵攻にさらされているウクライナでした。

また報告書は、民主的な連帯が極めて重要であるとしています。

「民主主義を信じるすべての人々とって国内の民主的制度に投資し、海外での権利に対する攻撃を呼びかけ、恒久的な平和を促進するために協力し、人権擁護者が活動できる場所を支援することが重要であり、持続的かつ協調的な行動のみが、約20年間にわたる世界の自由の衰退を逆

graph 19年間の世界の自由度の衰退 (2005～2024年)



転させ、より多くの国々が安全、繁栄、
その他民主的支配の恩恵を享受でき
るようにすることができるとして
います。

一つの指標として Freedom in the world 2025を紹介させてもらいましたが、感覚だけではなく具体的な指標として、国家間の分断や社会の分断が広がる方向に進んでいることがわかります。

そしてこれらのことは民主主義を危機に陥れ、働く者にとっては風当たりが強くなる方向の政策が押し進められることになるでしょう。

このことは、今回、株式会社野村総合研究所コンサルティング事業部パートナーである榊原渉氏から提言をいただいたように、現実のものとして明らかとなっています。

労働組合の連帯と 社会変革への取り組み

このような動きに対し、私たちが加盟しているインダストリアルグローバルユニオンは、その役割として「万人のために適正な生活水準を実現し、社会的公正、平等、公平を確保する」ことを掲げています。

また、世界最大の金属関係労働組合であるドイツのIGメタルの定期大会では、「右傾化を阻止し、民主主義を守る」ことを運動方針として確認しています。

わたしたちは自分達の周りのこと

を中心に考えがちですが、海外の労働組合と関わることで、社会正義のために一生懸命取り組んでいる仲間を見て、ものづくり産業を代表する私たち金属労協も、常にグローバルサプライチェーンを頭において物事を考えなければいけないという想いを強くしています。

残念ながら、日本国内においては、年々貧富の差が拡大しており、凶悪犯罪が増加しています。

その解決を社会や政治に求めたいところですが、いまの状況を見る限りはもう少し努力が必要だと考えます。

このような分断された状況を打破できるのは、社会正義を追い求める私たち働く者の連帯ではないかと真剣に思っています。

私たち金属労協は、これから世界の労働組合との連帯を強め、組合民主主義を基盤とし、わが国はもちろん、世界各国で働く労働者のそしてそれぞれの国の発展に向けて取り組んでいきます。

是非とも力を合わせて頑張ってくださいませ。